



のぞみ福井ニュースレター 2022年冬号/第77号

2022年、令和4年寅年が静かに開けました。本年も福井支部の活動にご支援ご協力よろしくお願い致します。コロナ5波が一段落して、やっと里帰りできると、成人式に参加できると、年末年始たくさんの人の移動がありました。楽しい新年を過ごしていたら、油断大敵、新しいコロナ、オミクロン株は感染力が強く、次から次へと感染大爆発。全国的に過去最大数の感染者を記録し、福井県でも最大数を記録、今も増え続けております。今回はワクチンを打っていない子ども、学生、若い方々に感染者が多く、幸い軽症や症状なしの方が多いため、いまだ感染拡大警報は続いております。（病床はひっ迫していないので、蔓延防止は出ていません。）このような状況でも、患者さんとご家族は外に出られずつらい入院生活を頑張っておられます。一日も早くコロナが収束し、心休まる日々にもどりますようにとお祈りいたします。（文責：代表幹事 坪田）

★大野公民館 編み物クラブ様からの製作物のプレゼント

大野公民館の編み物クラブ様が製作して下さったスヌードや帽子を、病気と闘う子どもやご家族にと、たくさんのプレゼントをご提供していただきました。大人用は、県内のがん拠点病院さんへも提供しました。子ども用は主に福井大学病院の小児科にもっていきました。



クリスマスプレゼントとしてご提供され、受け取った方々皆さんがとても喜ばれたと、がん相談支援員さんから伺いました。

★のぞみお話タイム&クリニック라운のクリスマス会 ONLINE 開催



12月22日 福井大学病院小児科病棟にて、のぞみお話タイム&クリニッククリスマス会を行いました。夏まつりと同様にクリニック協会の助成金でZOOMとタブレットを使わせていただく形で、WEB紙芝居、エプロンシアターをさせていただきました。事前にクリスマスの紙芝居を選んでくださったり、エプロンシアターに初めて挑戦して下さってたくさん練習されたり、カメラに映るところのクリスマスの飾りつけをして下さったり、お話タイムのメンバーが協力して楽しく素晴らしい出し物になったと思います。クリニックさん3人の素晴らしい進行と合いの手や声掛けがあったので、こちらに乗れた感じもありますし、受け手の病院側で、タブレットを移動していただいたHPSの荒木先生はじめ皆様のご協力なしでは行えませんでした。見てくれた子どもたちは事前に、クラウンから贈られた工作を製作し持参、当会から贈ったサンタ帽をかぶって当日タブレットの前に来てくれました。パフォーマンスを終えたメンバーからは、とても楽しくでき、子どもの笑顔が何よりうれしかったと感想をもらいました。子どもたちも楽しんで聞いていたと病院側からの感想を頂きました。また、24日には本部から提供してもらったクリスマスプレゼントも子どもたちにお渡しできました。皆様ありがとうございました。

★2月15日は国際小児がんデー 福井支部啓発活動開始

『皆様を知っていただくこと』それが重要なのだと思います。

子どもにもがんがあること、福井でも病氣と闘っている子どもたちがいること、世界において特に、発展途上国では十分な医療が届いていないこと、小児がんの支援リボンがゴールドリボンであること。

今年も福井支部では2月1日より、福井県保健予防課様のご協力や大野公民館、嶺南地区の個人、学校、市役所のご協力を得、県内各所にゴールドリボンツリーと子どもたちの描いた絵のコピーのラミネート版、ポスターや募金箱の掲示をさせていただきます。以下設置の様子です。設置場所等は福井支部HP、本部HPをご覧ください。お近くにおいでの際は是非ともご覧になり小児がんへのご理解、ご支援いただけるとありがたく存じます。よろしくお願いたします。



発行 : (公益財団法人) がんの子どもを守る会福井支部

TEL・FAX 0776-22-5132

Email nozomi-f@mx3.fctv.ne.jp

本部 URL <http://www.ccaj-found.or.jp/>

支部 URL <http://www3.fctv.ne.jp/~nozomi-f/>

支部 **Facebook** ページ

<https://www.facebook.com/gannokodomofukui>

★その他の活動の様子など詳しくは、福井支部ホームページ、フェイスブックページに都度記載いたします。